



人口密度90%!?

あらゆるモノが
落ちまくる
イライラスポットを
大改革!

目次

1. 分析① 潜む苦悩
2. 分析② 生活行為、ライフスタイル、ライフサイクル
3. 目標の設定
4. スマイルマークを取り除く
5. 種類・用途で分ける
6. 使用頻度で分ける
7. 収納を分析する
8. グループ分けと収納—指定席の仮決定
9. 暮らしの変化とまとめ

01 「ある夜の悪夢」の舞台 脱衣所に潜む苦悩

①洗濯機の裏にモノがしょっちゅう落ちる

冒頭の漫画のようにティッシュを落とす、メガネを落とす、洗剤のキャップを落とすなどの事故が、月に1~2回のペースで起こる。毎回必ず大騒ぎになり、一人は必ず助太刀に飛んでくる決まり。

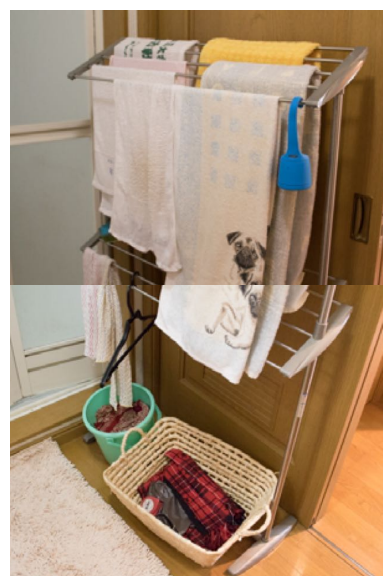
原因 洗濯機上の窓の棧が置き場だから。



②すれ違えない

三人が脱衣所に入ると、立っているだけでいっぱいになり、身動きが取れなくなる。

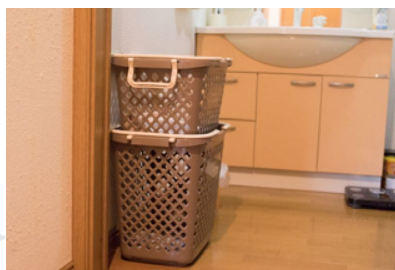
原因 動線を考えずに置いているから。



③複数人で使えない

②と同様。誰かが洗面台を使っているとき、引き出しや戸棚を開けることはできない。無理するとモノが落ちたり倒れたりする。

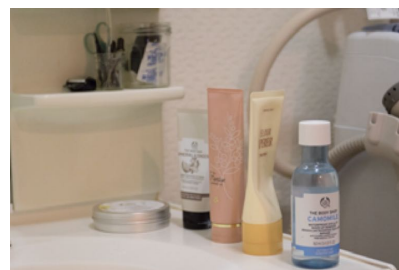
原因 出しっ放しのモノが多いから。



④掃除に手間がかかる

掃除する際、たくさんのモノを避難させなければならない。

原因 出しっ放しのモノが多いから。



⑤探しものが多い

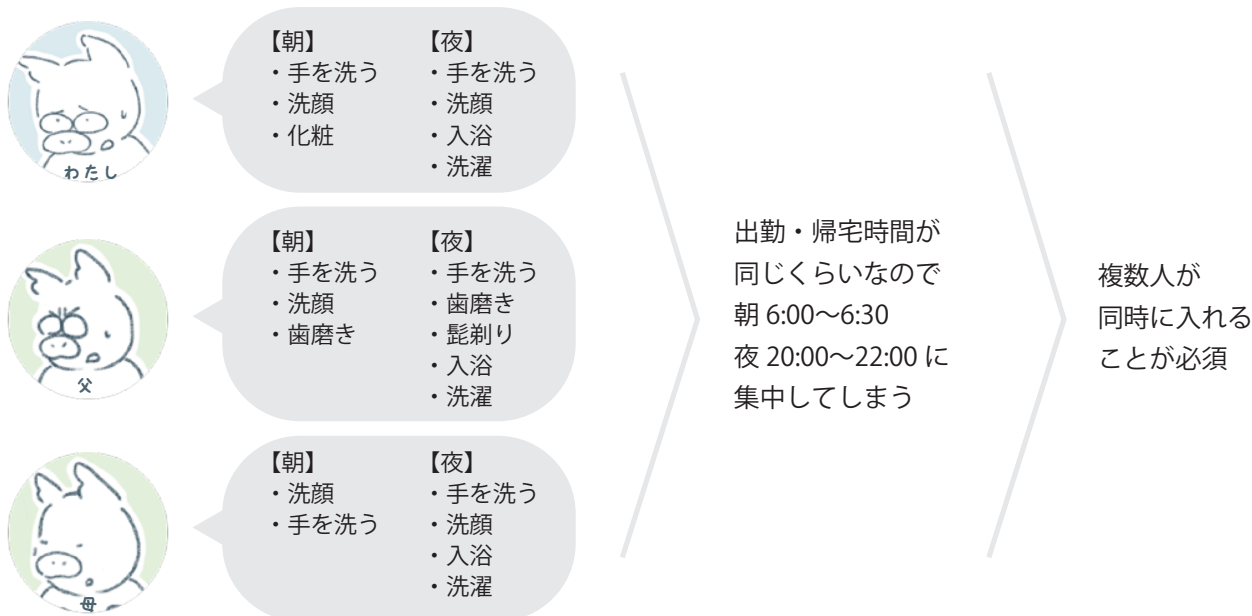
外に出ているモノ以外は、基本的に探さないと見つからない。

原因 定位置が決まっていないから。



02 脱衣所の整理収納 生活行為とライフスタイル、ライフサイクル

①脱衣所でやること・やる時間



②ライフサイクル

- ・父 60 歳、母 54 歳、娘 28 歳。
- ・数年後に娘が家にいない場合も考慮して、両親に負荷の少ない空間にしてほしい。
(大きな見直しが必要ない or 少ない労力でできるように)

03 脱衣所の整理収納 目標の設定

週 21 分の時短&一人あたりのスペース 3 倍増で、 ストレスフリーな脱衣所に変える！

①ムダな時間の削減：週あたり約 21 分 19.2 秒

・洗濯機裏にモノを落とし、てんやわんやする時間	15 分 × 月 2 回 × 2 人	週： 15 分
・使うタイミングが重なって、待っている時間	5 秒 × 週 3 回 × 3 人	週： 45 秒
・バスタオルを取りに行き、タオル掛けにセットする時間	15 秒 × 週 7 回	週： 105 秒
・洗濯ネットを探す時間	30 秒 × 週 5 回	週： 150 秒
・掃除のために化粧品類をどけて、その底面を拭く時間	3 秒 × 13 個 × 週 1 回	週： 39 秒
・掃除機をかけるために床のモノを退ける時間	週 1 回	週： 30 秒
・洗剤を探す時間	40 秒 × 月 1 回	週： 10 秒
		週： 21.31666667 秒

ちなみに 日あたり約 3 分 3 秒、月あたり約 85 分 16.8 秒、年あたり約 1,023 分 21.6 秒（約 17 時間！）

②スペース 3 倍

脱衣所に 3 人並ぶと手も足も出ない状態→肘まで伸ばして、ぐるぐる回れるようにする

04 脱衣所の整理収納 「スマイルマーク」を取り除く

①4つの領域に分ける



(1) 週に数回使っているモノ、(2) 月に一回は使うモノ、(3) 一ヶ月以上使っていないモノ、(4) 壊れているモノに分ける。圧倒的にプロパティ領域のモノが多い、パターンⅢの状態。収納の中はぎゅうぎゅう詰め、いつも使うモノは出しっぱなしになっていたのも納得できる。脱衣所のスペースは限られるので、まずはモノを減らす必要がある。

②いる・いないに分ける



スクラップ領域のモノは処分。加えて、プロパティ領域のモノでも使う予定のないモノは思い切って処分する。

③収納場所の違うものを分ける



脱衣所に置いてある必要のないモノは、そのモノがより活かされる場所に収納し直す。

05 脱衣所の整理収納 種類・用途で分ける



脱衣所で使うモノだけになったところで、それぞれを種類・用途別に分類する。同じ種類のモノが複数ないか、必要以上のストックを溜め込んでいないかチェックする。それぞれのストックは1〜2個程度だったので、適正な量と言える。

06 脱衣所の整理収納 使用頻度で分ける



使用するときのシーンを思い浮かべながら、使用頻度で分類する。使用頻度の高いモノの中でも、清潔に保ちたいモノ、明るい気分で使いたいモノは、もっとも取り出しやすいところに収納したい。

07 脱衣所の整理収納 収納を分析する



収納の寸法を測り、分析する。収納の要望を再確認（洗面台の上にはなるべく何も置きたくない、探しモノをしなくていいようにしたい）し、モノを使うときの動線を意識しながら収納の計画を立てる。

08 脱衣所の整理収納 グループ分けと収納ー指定席の仮決定



①洗濯機の裏にモノを落とすリスクをなくす

脱衣所で使うモノだけになったところで、それぞれを種類・用途別に分類する。同じ種類のモノが複数ないか、必要以上のストックを溜め込んでいないかチェックする。それぞれのストックは1〜2個程度だったので、適正な量と言える。



②洗濯ネットを探す時間を削減

合計20枚もあるのに収納場所のなかった洗濯ネット。洗濯機上に突っ張り棒を設置し、100均の麻カゴで収納を作った。向かって左が大きいネット、右が小さいネット、洗濯機の前面のフック（マグネット）が下着用ネットと、三種類に分けたのだが、ひと目で欲しいネットを見つけられるようになった。



③洗面台の掃除時間を削減

洗面台には、毎日使う手洗い石けんと歯ブラシ1本（母と私は台所で磨くため、父のモノだけ）を置いた。歯磨き粉はクリップをつけてタオル掛けに掛けた。歯ブラシ立てを底面のない陶器製のモノに変えたことで、お手入れが格段に楽になった。



化粧品は100均のワイヤーカゴで左の壁面に収納。三面鏡の左の棚に化粧品を入れて、化粧品は左側にまとめた。



三面鏡の右の棚は父の髭剃りセットと歯ブラシストック。



④バスタオルを取りに行く時間を削減

バスタオルからフェイスタオルに変更。シェルフを導入して洗濯後そのまま脱衣所に置いておく仕組みにした。



⑤大事なメガネはVIP待遇

洗濯機裏に落とす事故で一番被害が大きいメガネ。ベロアのトレーを購入し、安全に置けるように。



⑥ジメジメ防止

毎日洗濯しないので、シェルフの二段目下にハンガーポールを設置して、使用済みの濡れたタオルを掛けておくことで、カビや匂いの防止。

⑦衣類入れカゴは廃止

余計なモノを入れてぐちゃぐちゃになってしまうため。シェルフ2段目を空けておく。



⑧床掃除の準備時間を削減

掃除機をかけるとき、床にモノがたくさん置いてあるとどけるのに時間を取られてしまう。シェルフをガラガラと動かすだけでOKなようにしておく。



⑨問題のティッシュ

ティッシュケースに入れて、シェルフの脇に掛ける。



⑩数年後のために

シェルフを脱衣所で使わない場合はガラガラと転がして別の部屋に移動する。足腰が悪くなってきたら、ローラーを地に着いたモノに変えて、天井にセーフティポストを設置する。

画像：エレクター公式通販サイト<ERECTA>(<http://shop.erecta.jp/>)より



(11) 探しモノをなくす

洗面台下の戸棚には、洗剤ストックと掃除道具を収納。洗剤ストックは A4 のコピー紙用トレーに寝かせて収納し、シールでラベリング。中央のスプレーとその下の洗剤が少しだけ重なってしまったが、モノとモノが重なって見えないということがないように工夫した。



スポンジとシューズは戸の裏。

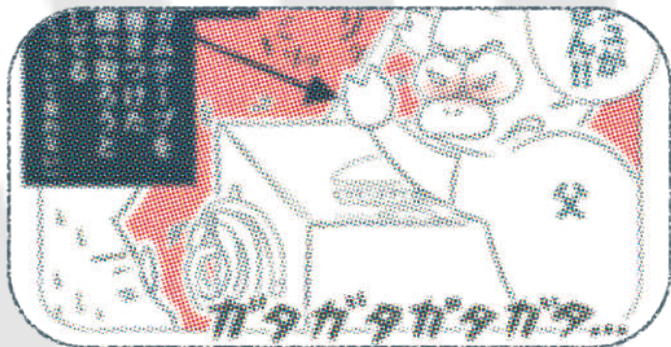


洗面台下の引き出し（上段）は、タオルと化粧品のストック。100 均のカゴとビンを使った。



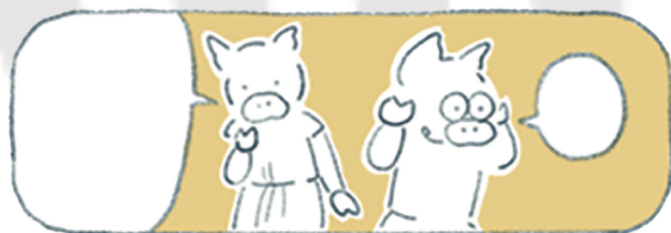
下段は癒しグッズ。使用頻度が怪しいため、仮置き扱い。

09 脱衣所の整理収納 暮らしの変化とまとめ



①洗濯機裏にモノを落とす事故がゼロに！

整理収納実施（2016年9月25日）から現在（2017年3月5日）までの約5ヶ月間、洗濯機裏にモノを落とす事故は一度も起きていない。



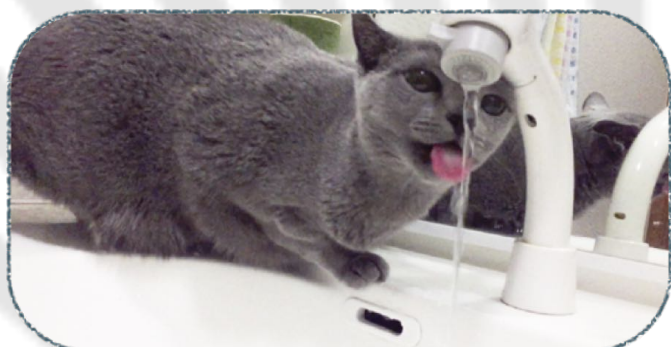
②脱衣所でのコミュニケーション増

脱衣所を使いながら話をするできるようになった。ある程度の空間があってストレスが少ないので、機嫌も良くなった。



③癒しグッズを使う余裕ができた

パックやボディクリームなど、ちょっと良いケア用品を使うようになって、以前よりもお風呂や洗顔が楽しみになった。



③猫が洗面台で水を飲むようになった！！

毎朝毎晩、父が洗面台を使うタイミングになると走ってきて、水を飲むようになった。あまりの可愛さに、父メロメロ。脱衣所で過ごす時間が楽しくなったようだ。

**モノが落ちまくるイライラスポットを整理収納したら、
それぞれがちょっと楽しめるウキウキスポットになった！**